

いぶりのエネルギー産業

胆振の概況 2025

- 管内には、道内唯一の製油所である出光興産(株)北海道製油所、道内最大の火力発電所である苫東厚真発電所などがあり、北海道の重要なエネルギー供給拠点となっているほか、豊かな自然環境に恵まれ、太陽光や風力、バイオマス、地熱といった多様なエネルギー源が豊富に賦存することから、各地で地域の環境特性に合わせた再生可能エネルギーの導入が進められています。
- また、水素の活用や二酸化炭素の分離・回収・貯蔵及び有効利用に関する実証試験、洋上風力発電関連事業の推進に向けた官民が連携した取組など、脱炭素社会の実現に資する取組が進められています。

(1) 全道へのエネルギー供給拠点

① 石油精製

事業所名	所在地	操業開始	原油処理能力
出光興産(株)北海道製油所	苫小牧市	1973(S48)	14万バレル/日

② 石油備蓄基地

施設名	所在地	設立	立地	操業	面積	備蓄施設容量	設備
北海道石油共同備蓄(株)北海道事業所	苫小牧市・厚真町	1979(S54).3	1979(S54).5	1982(S57).9	約135ha	約358万KL	33基
(独)エルク・金属鉱物資源機構/苫小牧東部国家石油備蓄基地	苫小牧市・厚真町	2004(H16).2	1981(S56).3	1984(S59).12	約274ha	約640万KL	57基

③ 石油・ガス受入・出荷施設

事業所名	所在地	受入・出荷製品
ENEOS(株)製造部室蘭事業所	室蘭市	灯油、ガソリン、LPG、軽油、A重油、C重油等を受入、出荷
石油資源開発(株)北海道事業所	苫小牧市	パイプラインによる天然ガス供給

④ 大規模発電所

事業者	発電所名	出力	内 訳	使用燃料
北海道電力(株)	苫小牧	250,000kW	1号機250,000kW	重油・天然ガス
	苫東厚真	1,650,000kW	1号機350,000kW、2号機600,000kW、4号機700,000kW	石炭
北海道パワーエンジニアリング(株)	苫小牧共同	250,000kW	3号機250,000kW	重油

※北電伊達火力発電所(出力700,000kW)は2024(R6)3月末で休止

(2) 再生可能エネルギーの導入状況

① 太陽光発電施設(主なもの)

事業者	所在地	出力	運転開始	備考
(同)苫小牧ソーラエナジー	苫小牧市	45.6MW	2016(H28).1	苫東工業団地内
(株)SJソーラー北海道	登別市	18MW	2018(H30).6	
オリックス(株)	白老町	18.9MW	2015(H27).12	
日鉄鉱業(株)	洞爺湖町	1.99MW	2013(H25).9	
SBEナジー(株)	安平町	64.6MW	2020(R2).7	
(株)CSS(旧市民ソーラシステム)	厚真町	15.2MW	2015(H27).1	
	むかわ町	19MW	2016(H28).3	

② 風力発電施設(主なもの)

事業者	施設名	所在地	基数	出力	運転開始	備考
室蘭市	祝津発電所	室蘭市	1基	1,000kW	2009(H21).12	
室蘭新エネ開発(株)	茶津第一発電所	室蘭市	1基	1,500kW	2006(H18).7	
	茶津第二発電所		1基	1,950kW	2007(H19).9	
(株)ユーラスエナジー伊達	ユーラス伊達ウィンドファーム	伊達市	5基	10,000kW	2011(H23).11	2,000kW×5基
	ユーラス伊達黄金ウィンドファーム		17基	34,000kW	2017(H29).2	2,000kW×17基

③ バイオマス発電施設(主なもの)

事業者	所在地	出力	運転開始	備考
苫小牧バイオマス発電(株)	苫小牧市	6,194kW	2017(H29).2	出資者(三井物産(株)・(株)イワクラ・住友林業(株)・北海道ガス(株))
ENEOSバイオマスパワー室蘭(同)	室蘭市	74,900kW	2020(R2).5	
勇払エネルギーセンター(同)	苫小牧市	74,950kW	2023(R5).2	出資者(日本製紙(株)・双日(株))

④ 地熱利用発電施設

事業者	所在地	出力	運転開始	備考
洞爺湖温泉利用協同組合	洞爺湖町	41kW	2017(H29).3	バイナリー方式

⑤ 水力発電所

事業者	発電所名	出力	運転開始	発電所名	出力	運転開始
ほくでんエコエナジー(株)	豊浦(豊浦町)	3,500kW	1989(H1).10	壮瞥(壮瞥町)	500kW	1920(T9).9
	久保内(壮瞥町)	7,200kW	1951(S26).11	虻田(洞爺湖町)	19,500kW	1939(S14).10
	洞爺(壮瞥町)	6,400kW	1939(S14).6			

(3) 脱炭素に向けた取組

室蘭市	<p>○水素エネルギーの活用 燃料電池車(FCV)の導入や移動式水素ステーションの整備、低圧水素配送システム実証実験など、水素エネルギーの拠点化に向けた施策を推進。</p> <p>○室蘭脱炭素社会創造協議会【設立：2021(R3).5】 室蘭地域における脱炭素社会の実現に向けた将来像や、室蘭地域の資源、技術の活用による他地域を含めた温室効果ガス削減、吸収に資する循環型経済の検討などを実施。</p> <p>○室蘭洋上風力関連事業推進協議会(MOPA)【設立：2020(R2).1】 脱炭素の切り札とされる洋上風力発電を、室蘭地域が有する港湾機能や鉄を中心としたものづくり技術を結集し、この地域を洋上風力の発電や建設・整備の拠点とし、産業活性化を図ることを目的に活動。</p>
苫小牧市	<p>○CCSからCCUSへ【Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage】 苫小牧沖では、2012(H24)年～2020(R2)年で30万tのCO2が国内で初めて海底の地層に圧入・貯留された。隣接する地区では、液化したCO2を船舶により長距離輸送する実証事業の実証事業が進められている。また、2030(R12)年からの事業開始を目指す先進的CCS事業のうち、苫小牧沖では近隣の発電所、製油所から発生するCO2を年間200万t地中貯留する事業が計画されており、2025(R7)秋頃には、貯留量の評価などのために試掘が開始される予定。</p> <p>○苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会【改組：2021(R3).10】 CCSの誘致・理解促進やゼロカーボンシティへの挑戦に取り組んできたが、2023(R5)年の総会で「ゼロカーボンと産業振興の両立」を目標に掲げ、「水素・アンモニア等次世代エネルギー拠点の形成」と「CCUS・カーボンサイクルの振興」を二本柱として、オール苫小牧で取り組む方針が示された。</p> <p>○国内最大規模となるグリーン水素サプライチェーン構築に向けた検討【出光興産株式会社、ENEOS株式会社、北海道電力株式会社】 2030年頃までに国内最大となる約1万トン/年以上のグリーン水素を製造できる水電解プラント(100MW以上)を建設し、豊富な再生可能エネルギーを活用して製造したグリーン水素を、出光興産および地域の工場などにパイプラインで供給するサプライチェーンの構築を目指す。</p>